仲間の手を借りようやく

今季4匹目、幸先の良いスタート

クロ54センチゲット

柳町の[illegible]さん

港

西港南埠頭

苫小牧市柳町在住の[illegible]さんは、囲碁、写真、魚釣りと多彩な趣味の持ち主で、いつもマイペースで自分流の釣りを楽しんでいる。14日、同じ町内に住む釣り仲間、[illegible]さんと連絡し合い、午前9時すぎに家を出た。

向かった先は、西港南埠頭（ふとう）。土曜日のこの時間、なかなか釣り場所は空いていない。ちょうど帰る人がいたので、[illegible]さんはそこに入釣した。[illegible]さんは、そこより南側に入釣することができた。

2人が遅く来たのには理由があった。潮の流れを読み、ベストタイムを午後1時ごろと考えたからだ。同1時半、その時がやってきた。沖合90㍍ほどに投げてあった[illegible]さんのさおに、ちょこちょこと小さい当たりがあった。

遠投用の硬いさおを使用しているので、大きくは曲がらない。少し糸がフケた。次に大きくラインが緩んだので、そこで合わせた。確かな手応え、大物と分かったが、なかなか上がってこない。力糸が見えてきた。仲間が手伝ってくれ、無事ネットイン。

計測すると、54㌢のクロガシラだった。この時期の仕掛けは、小さな片天秤に40㌢の長さの一本針。餌は、塩イソメを切らずに尻から刺して手繰り上げ、頭部をもう一度針先に刺して使用している。

[illegible]さんは「経済的で餌落ちが少ないのが特徴だ」と言う。先週は46㌢を南埠頭で釣り上げ、これで今季4匹目。幸先の良いスタートを切った。（雨）

54㌢のクロガシラを釣った[illegible]さん

こちらも43センチに笑顔

明徳町の[illegible]さん　思い描いた釣りに満足

南埠頭

苫小牧市明徳町3の[illegible]さんは5日、中央北埠頭で今年初めてのカレイ釣りで45㌢を頭に4匹のクロガシラを釣り上げた。8日は、午前5時に南埠頭に釣座を構えた。

あまり遠投はできないが、魚は近くにもいる。仕掛けは10㌢ほどの片天秤を使用した2本針で12～13号と小さめ。針には6角形の赤玉を付けた物。餌はエラコをむいて、塩エラコを作り、エビ粉をまぶし、さらにでんぷん粉の中に入れることで軟らかさを長く保つようだ。

朝のうちは当たりもなかったが、干潮が午後0時半すぎなので、その辺が勝負どころと新しい餌に付け変えた。

午前11時ごろ、沖合50㍍ほどに投げてあったさお先が小さく動き、少しの糸フケを巻きとると、大きな2回目の当たりで合わせ、居合わせた仲間がタモ入れしてくれて撮影できた。

産卵は終わっていたが、43㌢のクロガシラだった。きょうは思い描いた通りの釣りができて満足の笑顔だった。（雨）

自作の餌で43㌢のクロガシラを釣った[illegible]さん

東・西港でクロガシラ

場所 ポイント	魚種	釣果	情報提供
苫小牧東港（フェンス前）	クロガシラ アブラコ	クロガシラ20～40㌢、0～2匹。投げ釣りで。アブラコ30～50㌢、0～5匹。岸壁際を狙って。	森田魚心 苫小牧市 0144（56）0073
苫小牧東港（フェンス前）	ソイ	夜釣りで釣れるようになった。20～30㌢、0～5匹。ワームでも餌釣りでも釣れる。餌はイカが良い。	森田魚心 苫小牧市 0144（56）0073
苫小牧西港	クロガシラ	各岸壁の投げ釣りで。30～50㌢、0～2匹。魚は散り始め、中央北や中央南埠頭周辺、南、西埠頭でも釣れだした。	本紙取材（雨） 090（9519）8681
苫小牧西港（通称への字）	クロガシラ	型は30～45㌢、0～2匹。通称への字を挟んで堤防の上から遠投有利。日、時間帯で釣果は変わる。	本紙取材（雨） 090（9519）8681
苫小牧東港沖	マガレイ	水深20㍍前後で良型マガレイ釣果。40㌢超も。うねり、潮目早い日は激減し、落差あり。	かつえい丸 田代健二船長 0144（33）3506
苫小牧西港	クロガシラ	25～40㌢、0～4匹。遠投有利か。西・東埠頭でチカ。10～15㌢、10～40匹。どちらも朝夕目立つ。	エビス釣具店 苫小牧市 0144（34）3606
苫小牧西港	クロガシラ	日によるが、引き続き各埠頭で釣果見られ、30～50㌢、0～5匹。	釣り具のアングル 千歳市 0123（23）5150

浜厚真沖へマガレイ釣りが…

外道で大マダラ

柳町の[illegible]さん　95センチ、9.5キロ、胴回り60センチ

沖

初日から好調な滑り出しで始まったマガレイ釣りだが、このところ低気圧が次々と発生し、なかなか、なぎの日が続かない。しけが収まった5日、かつえい丸（田代健二船長）は浜厚真沖へマガレイ釣りに漁港区を出港した。

現場には、早くもマイボート、遊漁船から釣り人がさおを出していた。しけ後のうねりが残っていたため、何度かポイントを変えたが、どこも同じだった。これ以上いてもだめだと判断した田代船長が、きょうはあきらめて帰ろうした時に苫小牧市柳町から乗船していた[illegible]さんに当たりがあった。

カレイとは異なる引きは1、2回で、その後はただ重いだけ。水面上には大きな魚影が見えてきた。「魚だ、タラだ」。一番大きなタモが用意され、船上に上げられた。体長95㌢、体重9・5㌔、胴回り60㌢もあるグラマーな1匹だった。

例年、この時期カレイ釣りの外道として水深20㍍の浅場で釣れることはあるが、そのほとんどが痩せこけたものばかり。胴回り60㌢もあるものは珍しい。（雨）

体長95㌢のマダラを釣った和田さん

潮位表

			満潮(1)	満潮(2)	干潮(1)	干潮(2)
5月21日	小樽港	時刻	07:39	16:32	00:10	10:59
		潮位	23cm	26cm	-3cm	21cm
	室蘭港	時刻	04:17	20:17	10:57	23:01
		潮位	166cm	128cm	8cm	87cm
	苫小牧港	時刻	04:20	19:24	11:44	23:28
		潮位	147cm	116cm	7cm	87cm
	浦河港	時刻	04:20	19:17	11:47	23:32
		潮位	150cm	119cm	9cm	93cm
5月22日	小樽港	時刻	08:28	17:12	00:58	11:45
		潮位	22cm	24cm	0cm	20cm
	室蘭港	時刻	05:01	20:58	11:42	23:50
		潮位	157cm	124cm	19cm	87cm
	苫小牧港	時刻	05:03	20:00		12:24
		潮位	140cm	114cm		18cm
	浦河港	時刻	05:03	19:55		12:47
		潮位	143cm	116cm		20cm

支笏湖の解禁楽しみ

美笛で40センチサクラマス

湖

6月1日に待望の解禁を迎える支笏湖のチップ（ヒメマス）釣りは別格としても、多くの釣り人がフライやルアーで岸から狙う人気魚種は、ブラウン、ニジマス、サクラマスであることはよく知られている。

今シーズンも水温の上昇が始まった3月中旬から釣果が伝えられ、大型連休中は、魚の活性がピークを迎えた感があった。

ところが、どういう訳か釣れるのはブラウンとニジマスが中心で、サクラマスについては、若干出遅れの気配が続いていた。

しかし、7日、待望の朗報がもたらされた。釣ったのは、空知管内栗山町在住のベテランフライマン、[illegible]さん。美笛のポイントで午前10時ごろにヒットしたという。フライはウーリーバーガーのオリーブ。

全長40㌢の中型であったが、顔が小さく、体高のある典型的な支笏湖サクラで、このニュースが皆様の手元に届くころには、本物のサクラの開花も伝えられるかもしれない。（澄流亭ピンコ）

美笛で釣れた40㌢のサクラマス

釣り倶楽部

釣友日誌

～孤高の渓流師～　45

D氏に"孤高の渓流師"の重圧

「しかし、見ているとみんなの肩の力が抜けていて、ほんとにリラックスしていますネ。うらやましい」

「先生、あなたは入会の時から、既存会員には無いイメージを背負ってきたわけですから、たとえそれが虚像であろうと何だろうと。これが運命だと思って、スゴ腕を演じ続けてくださいよ。何せ、うちの会には、かつて無いキャラクターとして、一目置かれているんですから…」

S氏は、D氏の受けているプレッシャーが、予想以上であることに驚きながらも、あくまで、今まで通りの孤高、スゴ腕を演じ続けろと言う。

「まいったなあ」

そうしているところへ、下流から風に乗って、リーンリーンと鈴の音が聞こえてきた。見ると右岸の崖下になだれ込む荒瀬を釣り人が渡って来る。下流の桜野大橋から釣り上がってくるI君である。

「早いな…」

時計を確かめながら、S氏がつぶやいた。

I君は、さおを手にしているが、釣りをする様子もなく、急ぎ足で、こちらに向かってくる。

小さな砂場に座っているS氏とD氏の位置からは、流れ全体がよく見渡せるものの、ちょうど30㍍ほどの所に左岸から突き出している大岩があって、遡行してくるI君の姿が、束の間、その陰に隠れた。

そのタイミングを計ったようにS氏が言う。

「D先生、今の話は、ここだけのことにしておきましょう」

結局、D氏は不本意ながら背負い続けている"孤高の渓流師"という衣装を脱ぎ捨てるべき絶好のタイミングを失ったのである。（澄流亭ピンコ）